

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|-----------|
| 事業所番号 | 4590100329 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 明照福祉会 | | |
| 事業所名 | グループホーム明照 | | |
| 所在地 | 宮崎市佐土原町下田島4575番地1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成23年10月17日 | 評価結果市町村受理日 | 平成24年1月6日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4590100329&SCD=320&PCD=45 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|---------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 宮崎市原町2番22号宮崎県総合福祉センター本館3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成23年11月17日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様が安心・安全、そして本人らしさを尊重した生活が送れるように、職員間での情報共有・統一した介護を目指し、心に寄り添うケア姿勢を持ち、支援させていただいています。
開所して3年が経過しようとしております。徐々にですが、運営推進会の開催などで情報発信や働きかけを行い、地域の信頼を得ようとしている所です。
また、同敷地内に保育園やデイサービスセンターがあり、世代間交流や同世代交流の機会を多く持ち、出会いから生まれる喜びやつながり・生きがいを大事にしています。
ご利用者様・ご家族の意向を最優先に考え、ご利用者と職員との関係では無く、何でも共感し分かち合える家族を目指し、共に喜怒哀楽を感じ「自然・自由」な生活に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは地区自治会に加入し、公民館からの誘いを受けて、夏祭りや敬老会、サロンに利用者職員と一緒に出かけ、地域住民と交流している。地区民謡保存会ボランティアの受け入れや、地域の保育園児と定期的に交流し、ホームの農園で芋の植え付けを行なうなど、利用者は園児との交流をことのほか喜ばれている。毎月1回は家族の協力を得て、バスでドライブや花見、外食を楽しんでいる。誕生会には、利用者職員と一緒に作った手作りケーキでお祝いをしている。更に、料理教室の日を設け、利用者の希望を聞き、焼きそばや団子作りを皆で楽しんでいる。管理者職員は、利用者のできる能力を引き出しながら、楽しく暮らせるように、質の高いサービスに積極的に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|--|--|---|--|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 月2回開催している職員会議の中で、理念唱和を行い、共通認識を高めると共に、毎月5つの理念の内1つの理念を月間目標として、勤務毎に振り返り評価を行い、理念の実践に努めている。 | ホーム独自の理念(5項目)を作りあげている。毎月の職員会議で理念を共有し、実践できているかを評価している。実践が不十分である場合は、その項目を月間の目標に挙げて理念を共有し、実践につなげている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している | 地域のボランティア団体の協力を頂きながら、月1回程度の来訪があり、その中で交流が図れている。また、地域サロンへの参加は環境的な問題があったが、改修が済み再開予定。散歩活動を通して、地域の方々と挨拶を交わしている。 | 地区の自治会に加入し、公民館からの誘いで夏祭り、敬老会、サロン等に出かけて、地域住民と交流している。佐土原民謡保存会のボランティアの受け入れや、同グループの保育園児や地区の保育園児がホームを来訪するなど、積極的に双方交流をしている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議で認知症をテーマに研修会を行い、理解を深めている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 概ね奇数月で開催しており、行事の様子を視察してもらい、直接利用者との交流や会議形式で経営・運営状況報告及び施設の課題について貴重な意見を頂き、サービスにつなげている。地域包括支援センター職員の参加も増え、不参加時はコメントを事前に頂けるようになった。 | 地区の有識者および利用者家族の代表、地域包括支援センター職員、ホームの運営者と職員が2か月に1回定期的に参加して、運営推進会議が開催されている。運営状況の報告やホームの課題等について話し合いを持ち、そこで出された意見を運営に反映させている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 宮崎市北地区主催の研修会や佐土原地区地域包括支援センターが主催の佐土原多職種研修会には積極的に参加し、情報交換を行っている。また、制度・運営上の問題があれば電話連絡し、助言を頂いている。 | 市が実施する研修会や佐土原地区地域包括支援センター主催の研修会に積極的に参加して、交流に努めている。また、制度や運営上の問題などは、電話にて相談し、協力関係を築くようにしている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束マニュアルを通して研修会を行い、身体拘束を行わない意義・認識を高め、自由な生活が送れるよう支援している。 | 管理者と職員は、身体拘束について研修会や勉強会を通して、身体拘束の弊害を理解し、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 高齢者虐待に関わる研修に参加し、復命研修を行う事で防止に努めている。接遇の場面で、言葉づかいには十分気を付けるように自己評価で振り返る機会を持っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 宮崎県社会福祉研修センターが主催する研修に参加し、権利擁護を学んでいる。 現在の所は、家族が身元引受人となっており、金銭での問題は無い。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入退居時には、十分な時間を設けて解りやすい説明を行い、きちんと理解した上で同意をもらっている。また、不明な点などの質問があれば、より丁寧な説明を行っている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 常々の面会時に生活状況を報告、家族会での協議や運営推進会議にも家族会代表に参加してもらい、意見を頂く機会を持ち、その意見をサービスに反映出来るように職員会議で全職員に周知し、検討している。 | ホームでの利用者の生活ぶりについて来訪時に必ず報告し、来られない事情のある家族には、ホーム便りや請求書と一緒に報告する方法を取っている。また、毎月のドライブの時は、家族とコミュニケーションを取りやすい機会なので意見を聞き、運営に反映できるように努めている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員会議内で、意見や提案を聞く機会を設けている。また、その意見や提案に対して、全職員が納得した上ですすめている。 年度末には、理事長と直接面談ができる機会を法人として設けている。 | 職員会議やミーティングの中で、意見を出し合えるように管理者は配慮し、出された意見について全員で討議して運営に反映させている。年度末には、理事長と職員の直接面談を設けて、意見や提案を出せる機会を設けている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 管理者は、仕事に関する相談を必要に応じて随時受け付け、不満や負担が無く仕事に励めるように努力している。 資格手当等、職員が向上心を持ち平等性が確保された給与の仕組みとしている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部研修については、年1回以上は全職員参加出来る機会を設けている。 また、専門知識を高めるために職員会議内での内部研修や法人内での専門職別内部研修にも積極的に参加している。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム連絡協議会が開催する研修に参加し、情報交換を行っている。(しかし、職員が参加する機会が少ないので検討していきたい) また、運営推進委員参入の働きかけを近隣のグループホーム事業所に協力要請している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 初回面接・入居初日など、話を十分に聞けるようにゆっくり時間をかけている。また、本人や家族の要望や状態等をきちんとアセスメントし、職員に情報提供し、安心して本人らしい生活のあり方を追求する努力を行っている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 初回面接時や入居初日など、本人は勿論、家族からも話を十分に聞けるようにゆっくり時間をかけている。また、本人の意向と家族の意向が違う事もあるため、専門的な立場からの助言や納得・安心出来る対応に努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | グループホームとしての可能な支援状況をきちんと説明している。 また、説明した上で、他サービスの要望や希望があれば出来るだけ協力し、関係機関などの紹介を行っている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 利用者と職員の関係でなく、お互いが思いやれる家族を目指している。(理念) しかし、忙しさを理由に、ケア不足や対応の在り方が職員それぞれで統一出来ていない部分もあり、自問自答する事が度々ある。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族への面会依頼や利用者への気持ちが遠くならないように、月1回生活状況が分かる手紙を送っている。また、ケアの方向性など本人では判断できない状況があれば電話連絡し、確認・同意した上で取り組んでいる。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 知人や友人の面会は歓迎している。 また、面会があれば、気兼ねなく足を運んで頂ける対応や環境に努めている。隣接しているデイサービスに友人・親戚が利用されている方もいるので、お会い出来る機会を設けている。 | 家族や、友人、親戚などが、気兼ねなく足を運んでいただけるように協力を依頼し、利用者がこれまで大切にしてきたなじみの関係を継続できるように支援に努めている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者、それぞれの性格や特徴があり、時々小さなトラブルがある為、席などの配置に工夫している。また、一緒に取り組める作業等で、良い関係を深める事が出来るように努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 入院時等、出来るだけ面会の機会を持つことやメッセージカードをお送りする事などで関係を断ち切らない努力をしている。また、退居されても家族や関係医療機関へ連絡し、状況を確認し、関わりを持ったつながりを大切にしている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 常々のコミュニケーションから、本人の意向や要望に耳を傾ける努力をしている。なかなか自己主張が難しい方については、五感を働かせ、生活状況からの気づきを大切にケアのヒントを得て、職員間で何が必要な支援なのかを検討している。 | 日々のケアの中で、利用者一人ひとりの意向や思いを行動や素振りから察知している。職員間で話し合いを持ち、一人ひとりの意向に添うように、家族の協力を得ながら支援している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 在宅生活で馴染みのある生活用品を出来るだけ持参してもらい、環境の変化が少ない雰囲気作りにも努めている。また、生活歴をコミュニケーションの中や必要に応じて、家族からも面会時に聞き取るように努力している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | その人らしさを尊重している生活が送れているかを毎月モニタリングし、職員会議で検討を重ねている。また、日々の状態や気づきの記録を必ず確認し、情報を得て、ケアを行うように努力している。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 担当スタッフが中心となり、計画に基づいたケアが出来ているかを毎月評価を行っている。また、その計画が本人の意向に沿ったものなのかを職員会議内で検討し、必要に応じて随時変更・見直しを行っている。 | 利用者、家族の意見を十分に取り入れたケアプランが作成され、1か月に1回モニタリングを行い、3か月に1回ごとの見直しプランが作成されている。状態に変化がある時は、その都度、見直しプランを作成している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 24時間、時間に応じた状態変化や心境をきちんと記録し、情報を共有し、ケアに反映する努力を行っている。(ケアプロセスの理解)しかし、きちんとした真意に気付かず、対応出来ていない状況もあるのではと考える。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 利用者のニーズ把握で、定期的に行事や活動内容の希望を聞き、取り入れて実践出来るよう努力している。また、突発的な希望「外に出たい」などあれば、職員間で協力し、対応するように心がけている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 運営推進会議内で、地域行事の把握を行い、参加出来る行事は無いか働きかけを行っている。また、地域ボランティアの方からの協力体制は、職員の努力で関係が築けてきている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 協力医療機関への受診は、出来るだけ生活状況を把握している施設での対応を行っている。その他、新たな症状に対しての受診は家族へ依頼し、早急な対応に心がけている。 | 利用者、家族の希望を大切に、これまでのかかりつけ医との関係を継続して、医療が受けられるように、生活ぶりや病状などの情報提供を行い、適切な医療が受けられるように支援している。協力医療機関との関係も同様に支援している。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 医療的な判断については、看護師に指示を仰ぎ助言をもらっている。看護師での判断が難しい場合は、かかりつけ医との連携を図り、助言や指導をもらっている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院の際には、必ず入院医療機関に足を運び情報を提供している。 退院時には、カンファレンスの開催を要望し、情報をもらい、安心したスムーズな生活復帰を目指している。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 現段階の看取りの方針を本人・家族から聞き取り、看取り指針を策定し、家族会で説明は行えた。しかし、まだ現状では課題も残っており、早急に対応が行えるように、今後も努力していきたい。 | 利用者の9名中8名は、重度化や終末期の看取りまでを希望している。ホームとしても看取りまで対応する方針が出され、看取り指針ができて上がっているが、かかりつけ医や協力医、職員の勉強会や意見調整には至っていない段階である。 | かかりつけ医や協力医、また、地域の関係医療機関等と協力体制を取りながら、職員の勉強会十分な話し合いを持ち、方針を共有できるように取り組まれることを期待します。 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 緊急時・事故発生マニュアルを作成し、早急に対応できるように内部研修や職員会議内で研修を行っている。また、事故を未然に防ぐ為に、毎月ひやり・はっと、事故報告の事例を検証している。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 毎月防災訓練を実施。 訓練を重ねる事で、きちんとした対応が身につけてきている。同法人内職員で、近隣在住の職員には協力体制を整備している。しかし、地域の住民の協力体制はまだ整備できていない。 | 総合防災訓練や夜間を想定した避難訓練を組み合わせて毎月1回実施し、記録に残して課題を検討している。近隣在住の職員の緊急通報システムも配備し、協力体制が整っている。近隣住民の防災訓練の参加、協力体制が整備されていない。非常用の備蓄として1回食分がある。 | 近隣住民に防災避難訓練の参加を呼びかけ、協力体制を築いていくことや非常用備蓄の量についても検討をされることを期待したい。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 入室の際への声掛けや本人所有物の取り扱いには十分配慮を行っている。 また、言葉掛けについても尊厳を大切にしているが、仕事の忙しさから言葉遣いへの配慮を怠ってしまっている反省もある。 | 利用者の一人ひとりに合わせた声かけを行い、優しく対応している。失禁の対応は、プライバシーを損ねないよう、人目につかない各々の個室にて行っている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 分かりやすい説明に心がけて、日常生活の自己決定が行えるように努力している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 施設側が準備している活動もあるが、参加の有無決定は利用者を選択して頂いている。 本人らしさの生活を確立するために、ケアプラン第3表を活用しているが、業務を優先させてしまっている状況も時々あり、業務改善など更なる努力が必要。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 着衣する洋服については、本人の意思を尊重しながら支援している。(特に外出や行事の時は配慮を行っている) 理容・美容についても、利用者の意向に基づき施設に招いている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者各々の嗜好を事前に確認しながら、楽しめるおいしい食事を提供している。また、調理実習等、一緒に取り組める活動も定期的に行っている。後片付けについては、利用者の力を借りながら取り組んでいる。 | 朝夕はホームで調理し、昼食のみデイサービスで調理された食事であるが、食欲をそる盛りつけや利用者に合わせて献立で、おいしい食事を提供している。お代わりも自由に行える。日曜日の昼食は、利用者の希望を取り入れて、お好み焼きなどを一緒に作り、楽しい食事となるよう支援をしている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎月の体重測定や一日の水分量、摂取量などを把握し、栄養面に偏りがないように対応している。摂取量が少ない時は、情報を共有し、分食や好まれている物の提供など、出来るだけ摂取してもらえるよう工夫に努めている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後の口腔ケアを実施している。 義歯装着の利用者については、毎晩洗浄している。咀嚼具合や摂取状況に変化があり、口腔的な問題があれば、医療機関への受診に心がけている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄チェック表を活用し、排泄パターンを把握しながら失禁予防に努めている。夜間の排泄についても、出来るだけ離床しての排泄が出来るように支援している。また、尿意が薄れてきているも、おむつ対応でなく、トイレでの排泄の可能性を大切にしている。 | 排せつチェック表を活用し、利用者一人ひとりのパターンに合わせたトイレでの排せつができるように、自立に向けた支援が行われている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 午前中のおやつの中には、必ず乳製品を摂取していただき、便通の働きの活性に努めている。便秘症がある利用者については、かかりつけ医に相談しながら、内服薬の調整を依頼している。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 個別入浴での対応で、ゆっくり本人ペースで楽しめるように努めている。 また、1日置きの入浴だが、希望があれば毎日の入浴や気分や体調が優れない時は、次の日の入浴など、出来る範囲の配慮を行っている。 | 利用者の体調を見ながら、希望どおりの入浴が楽しめるように支援している。毎日の入浴も対応可能である。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 睡眠時間や状況が把握できるようきちんと記録し、安心して休まれる言葉かけや対応に努めている。安眠しにくい状況があれば、きちんと寄り添い傾聴し、不安解消していく対応や必要に応じて主治医へ相談し、薬の調整を依頼している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 看護師中心に服薬管理は行っている。 処方変更があれば、申し送り記録へ記載し、情報を共有している。 また、内服内容が分かるように、処方箋綴りを閲覧・確認できるよう準備している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 個別単位での取り組みには至らないが、出来る日常動作や趣味を活かした事などについては、コミュニケーションを図りながら一緒に取り組んでいる。 更に個別での取り組みが出来るように、担当職員を中心に努力していきたい。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 月1回以上は、外出する機会を設けている。(ドライブ・買物・外食など)また、寒暖の影響がない時期については、毎日の散歩に取り組んでいる。しかし、個別性のニーズを活かした外出を行いたい所だが、車両や人員の制限が課題となっている部分もある。(ボランティア・家族の協力) | 利用者の希望を聞き、毎月1回以上はバスでドライブや外食、買い物など、家族の協力も得ながら外出している。また、天気の良い日は、午前中1時間程度の散歩を日課として、近くのスーパーやコンビニに立ち寄ったり、保育園児や近隣の人々とあいさつを交わすなど、楽しみな散歩となるよう支援している。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 少額の管理については、利用者に応じて持参されている。しかし、紛失したら損害賠償などリスクも大きいことから、預かり金として管理者が金銭出納帳を活用しながら管理している。買物行事等で、支払いのやり取りを行って頂く事はある。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 利用者の必要があれば、電話の支援を行っている。手紙については、活動の一環で年賀ハガキや暑中見舞いなど、文字記入が可能な方については直筆で作成し、困難な場合は代筆し支援している。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居間の壁画については、季節感を感じてもらえる環境整備に心がけている。また、音楽を常に流し、心が穏やかになるように努めている。 施設特優の匂いを消臭するため、空気清浄機を活用している。 | 利用者が集うリビングは、採光や風通しが良く、壁や天井に木材が使われ、畳のコーナーやソファが置かれている。また、外出時のスナップ写真や観葉植物が要所に飾られ、利用者がなじみやすく、落ちついて過ごせるように配慮された空間となっている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 6人掛けテーブルを3台設置し、関係を配慮しながら配置を工夫している。また、ソファを居間に置き、日光浴を楽しみながら、ベランダで外気浴を楽しみながら語らいの時間を設けるように工夫している。(和室の活用が今後の課題) | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者が使用されていた馴染みのある物(家具や仏壇など)を持参してもらい、ゆっくり落ち着いた過ごせる環境に努めている。 | 利用者のなじみのいすや鏡台、仏壇、家族と一緒に撮った写真などが持ち込まれている。また、ベッドより畳敷きを希望される場合もあり、利用者の希望に沿って畳を敷き、本人が居心地良く過ごせる居室となるように工夫をしている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室の家具の配置については自由を尊重。日常的に使用しやすい配置を助言しながら整えている。しかし、手すりの高さや椅子・テーブルの高さなど、利用者それぞれの特性にあったもので無いと感ぜられる環境もある。 | | |